

ノートルダム女学院 中学高等学校

グローバル・ワークショップ・ジュニア (GWJ)
の取り組み

NOTRE DAME
JOGAKUIN



NOTRE DAME
JOGAKUIN

■目的

ラウダート・シの精神である「すべてはつながっている」ことについて、具体的な「つながり」を通して考える。実感する。

■概要

- 総合学習の時間（年間16～17時間）で、中1は環境問題、中2は平和について、中3は高校へのつなぎ(ブリッジプログラム)として、人権問題の取り組みを通して『ラウダート・シ』について考える。
- 2022年開始（中3は2023年開始予定）
- 決められたテーマについてインプット（映像や資料など）があり、その後各自/グループで調べ学習⇒発表

中学1年生の取り組み（環境問題から考える）

■ インプット



回勅ラウダート・シ紹介

(問) 今の地球が抱える問題とは？

- 地球の**温暖化**（大気汚染）
- 海洋、河川の**汚染**（**プラスチックゴミ**など）
- 土壌の汚染（→**砂漠化**）
- 生物多様性の喪失**
- 森林破壊

※ **人間の活動が原因**
⇒ **開発途上国**へのしわ寄せと将来世代への責任

地球規模の課題（温暖化、ごみ問題など）



温暖化によって引き起こされた火事など

(地球温暖化の進行予測ポイント)

- 2100年までの**平均気温の上昇を産業革命前の気温と比較して、**1.5℃未満に抑え込む**ことが必要【**科学者**】
- ⇒ しかし、**すでに1℃の上昇**が生じている。

目標

- 2030年までに**二酸化炭素排出量を**半減**させる
- 2050年までに**排出量を**ゼロ**にする

※ もし、現在の排出ペースが継続したら

- 2030年に**気温上昇**1.5℃のライン**を超える
- 2100年には****4℃以上**の気温上昇

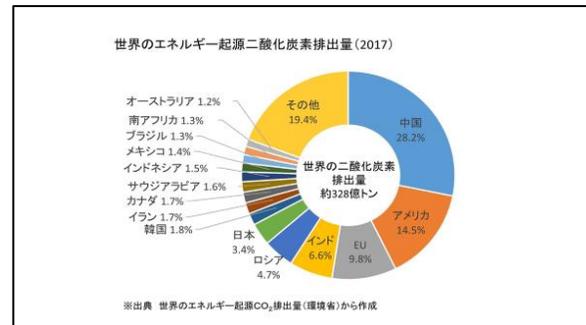
地球温暖化の原因と今後について考える

日本の被害の予想

(例) **2℃の上昇**

- サンゴの死滅**、漁業被害
- 夏の熱波による農作物の不作
- 台風の巨大化の加速**
- 豪雨被害の拡大**・・・(2018)西日本豪雨の被害総額「1兆2000億円」
※この規模の豪雨は毎年起きている
- 海面上昇・・・**気温上昇が4℃まで進行**
⇒ 東京の**江東区、墨田区、江戸川区**などが高潮で**冠水**（大阪の淀川流域も同様）

地球温暖化、日本への影響



国別二酸化炭素排出量



絶滅危惧種の動物たちのことを調べる

(問) なぜ動物たちは絶滅していくのでしょうか？

GWJ「ラウダート・シ」

(授業テーマ) 「**絶滅危惧種の動物**」を通して **地球環境問題**についてを考える

動物たち、気候変動、私たちの生活

調べ学習－生徒たちの気づきを促す

絶滅危惧種の動物を調べよう

〈調べるポイント〉

(1) 動物の紹介

- ・ 生息地域、暮らし方の特徴（日常行動・食習慣な

(2) 個体数の変化

- ・ いつ頃から個体数が減少したか。

(3) 絶滅危惧種となった原因

- ・ 現状の改善のための具体的行動

(4) 自分が考えたこと

人間に被害が及んでいる具体例を探しましょう！

〈検索の方法〉

(1) 各自で検索

⇒ 発表

(2) 具体例の紹介

[大気汚染](#)

[アマゾン熱帯雨林の伐採](#)

[アフリカ水問題](#)

まとめのインプット

GWJ ~これまでの学習を振り返ろう~

問：「絶滅危惧種の動物たちを調べて分かったことは何ですか？」

⇒ 「動物界＝人間界」・・・2つの世界はつながっている

アシジの聖フランシスコ：自然界の全てを「兄弟姉妹」と呼んだ。

問：「フランシスコが兄弟姉妹という言葉に込めた思いは何でしょうか？」

アシジの聖フランシスコ



フランシスコ教皇からの手紙 ~ ラウダート・シ (アニメ) ~

Caritas Japan カリタスジャパン

総合的エコロジーとは

- ✓ すべては つながっている
- ✓ 環境問題は、社会問題でもあり人間の課題でもある
- ✓ 自然環境と弱い立場に追いやられた人々には密接なつながりがある

として
「いのち・環境・平和」を一つのつながりとして捉えること

acer

生徒たちの気づき（中学1年生）

・「ラウダート・シ」の授業では、絶滅きぐしゅ以外に、少し最後の方に世界の様々な課題についてふれました。この時に、確かにこの問題を解決出来るのは、今、生きている私達だけだと改めて感じました。この学習をきっかけに、自分に出来ることは何かを見直し、それについて全力で取り組もうと思います。私達と他の人々の未来のために。そして最後にこの学習が出来たことに感謝します。

・色々な、大切さやすばらしさを知ることが出来て、とても良かったです。今回の自然も、自ら調べないようなことを調べることも出来て、嬉しいです。発表の事は、みんなで協力して出来たので、「ニホンオオカミ」について調べてスライドにして発表しました。絶滅きぐしゅは、小学校の頃に調べた事がありました。でも聞いた事のない絶滅きぐしゅを聞いて、とてもびっくりしました。このGWJの授業が毎回毎回楽しみでした。本当にありがとうございました。

・「ラウダート・シ」の授業のことで知らないことをたくさん知れました。

1つ目は絶滅危惧種の種類についてです。ラッコやレッサーパンダなどの私の好きな動物が絶滅危惧種に指定されていると知ってがっかりしました。その理由を調べてみると、どの動物もほとんどが人間が関係していることを知って、私も絶滅危惧種の動物のために、行動をしたいと思いました。

2つ目は自然のすばらしさについてです。今まで生き物の模様などを見て何とも思わなかったけど、よく考えてみると、なぜこのような形や模様になったのだろうと思いました。先生も言っていましたが、このことは科学者でも分からないそうです。このように自然界では人間が分からないことを作り出せるすばらしさがあると気づけました。

・前回の授業で調べたことや、今日の授業で深く思い知ったことは、環境（自然）破壊には、全て人間が関わっているのだということです。生き物の減少には、人間の乱獲、森林の減少には人間の森林ばっさい、水汚染には人間の海や川などへのプラスチック放流、大気汚染には人間のCO₂放出など、全て人間のせいなのだなと思いました。今日は自然のすばらしい風景を調べて、とても美しく、「すごいなあ！」と思ったけれど、こういうすばらしい風景もじきに人間によってうばわれてしまうのかと、少し悲しくなりました。こういう風景は、はかないなと思いました。人間は技術向上や経済発展をすると同時に、自然をぎせいにしていたのだなと思いました。

読んだことがある本には、「人は自分が何ををしていて、それがどんな結果につながるのか知るべきだと思う。人という生き物がおろかで、どうしようもなくおろかで、その知識を誤った道に使ってしまうとしても、それでも・・・」という主人公のセリフがあって、その通りだと思いました。

・小さいころに絵本や動物園で見た動物が絶滅きぐ種になっていて悲しかったです。自分の子ども達にも見てほしい、可愛らしくて尊い命、姿があるので、絶めつしないように「身の回りでできること」から始めたいと思います。人間が自然や動物達をこわしたり殺したりしている結果、人間が困るはめになっているので、その事をしっかりと理解してほしいと思います。

・「ラウダート・シ」という言葉に教皇様がお込めになられた深い意味というのが知れました。そのお言葉どおりに全人類が兄弟姉妹のように持続可能な社会でくらしていけるよう、自分たちにできることを精いっぱいやろうと感じました。

言語技術やGWJ、その他の場でもたくさんの地球上の課題を勉強しましたが「知る」だけでなく、そこから一歩ふみ出した「実行する」、まさにノートルダムミッションコミットメントそのものだなと思いました。これらをいつか実現できるように今できる全力をつくそうと思います。